

水力以外の発電の例

ゴミを燃やして発電…くりりんセンター

おびひろし おとふけちよう まくべつちよう とよころちよう めわろちよう なかさつない
 帯広市・音更町・幕別町・豊頃町・芽室町・中札内
 村・更別村から出るゴミを処理する「くりりんセンター」には、ゴミを燃やした時の熱を使って電気を起こす、「くりりん発電所」があります。

しくみは火力発電所と同じで、火の熱で水を暖め蒸気にして、その蒸気ので発電機を動かしています。

起こされた電気は、「くりりんセンター」で使われるほか、北海道電力を通じて家庭などにも送られています。



くりりんセンター。帯広市西24条北4丁目。



蒸気タービン発電機（※4）。



焼却中央制御室。ゴミが燃やされる状態などを監視している。



特別高圧開閉所。ここから北海道電力を通じて家庭などに電気を送る。

太陽の光で発電…太陽電池

晴れてさえいれば、太陽は人が何もしなくても光を降り注いでいます。

この太陽の光を使って電気を起こすのが、太陽光発電です。太陽光発電は太陽電池を使います。

太陽電池はおおざっぱに言って、光があたると電気のプラスとマイナスを発生させることができます。その両方に電線をつなぐことで、電気を取り出すことができます。

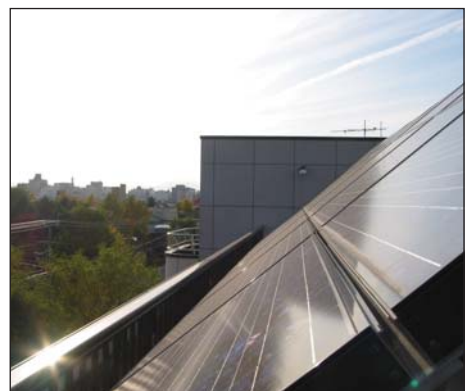
太陽光発電のいいところは、石油や石炭などの限りあるエネルギー源を使わずに電気を起こせること、地球温暖化の原因ともいわれる二酸化炭素を出さないこと、音や振動を出さないことなどです。ただし、発電量が天候などに左右されるので、今の技術では安定した電気を起こすことが難しい発電方式です。



(上) 屋上や屋根などに取り付けられる太陽電池。



(左) 発電状態をチェックするメーター。



(右) 光を受けて発電する太陽電池。
 (協力：伊豆倉組)

※4 タービン：液体や気体など流れるものを水車や風車などに吹きつけ、それによって軸(じく)を回転させて動力を得る原動機。

※5 地球温暖化(ちきゅうおんだんか)：ここ100年で地球の平均気温が0.7℃上がり、ここ10年の上がり方は特に大きい。二酸化炭素など、暖まりやすいガスが原因の一つだ、という説がある。

川で行われた大きな工事

川に広がる
 くだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

付録